

主張

三重県保険
医協会は6月
18日第44回定
期総会を開催
した。201

1年より6年間三重県
保険医協会を牽引してい
ただいた渡部泰和先
生が退任し、宮崎智
徳先生が新たに会長
に就任し、新体制で
協会活動に取り組
むことが承認された。

第44回定期総会を終えて

むことが承認された。

社会保障制度の充実
へ向けた運動の強化は、
来年の医療・介護同時改
定に向けて喫緊の課題で
ある。政府は、2016
年度から3年間で社会
保障費の自然増を1・5

兆円(年間5000億円)

程度に抑えるため、大幅
な患者負担増と給付抑
制を目論んでいる。医療
分野では、国保の都道府
県単位化、はじめに病床
削減ありきの地域医療構

得者の介護保険料3割

負担、要介護1・2の生
活援助切り捨て、要支援
1・2のヘルパー・デイ
サービスの市町村事業化
などが狙われている。
その一方で、大企業減

者・国民の皆さんと共に

強力に推し進めていかな
ければいけない。
消費税増税の中止や
医療費への「ゼロ税率」
適用、診療報酬の不合理
是正や抜本的引き上げ、

されており、さらに患者・

県民と共に幅広い運動を
進めていくために「保険
でより良い歯科医療を」
三重連絡会の設立を目
指している。
定期総会で承認された
方針の下、医科歯科
一体の組織としての
特徴を生かした医科
歯科連携の学術研
究や診療研究、共済
制度の充実、スタッ

想、70歳以上の高額療養

費の限度額引き上げ、65
歳以上の療養病床の光
熱費の引き上げ、受診時
定額負担の導入、市販薬
の保険外しなど、また介
護分野では、現役並み所

税や不必要な公共事業、

規制緩和などを推し進
め、格差と貧困が拡大し
ていく中、引き続き「ス
トップ！患者負担増」保
険で良い医療」の実現を
求める運動を会員や患

審査・指導・監査・適時

調査対策など課題がめじ
ろ押しである。また歯科
分野では、三重県議会は
じめ12自治体で「保険で
より良い歯科医療の実
現」を目指す請願が採択

フ研修など会員の皆さん

の要求に応え、「頼れる身
近なパートナー」として
あり続けることを念頭に、
会員の皆さんと共に協会
活動の充実を目指してい
きたいと考えている。